

4年ぶり 生田キャンパス開催

ホームカミングデー2023



桃野校友会会長

卒業生をキャンパスに招くホームカミングデー2023が10月29日、生田キャンパスで開催された。多くの校友が来校し、学生時代を懐かしむとともに、進化する専修大学の「いま」を感じていた。

生田キャンパスでの開催は4年ぶり。開会式では、松木健一理事長、佐々木重人学長、日高義博総長が校友を歓迎。校友会の桃野直樹会長は「久しぶりに生田キャンパスで皆さんと顔を合わせる事ができてうれしい」と述べた。

世界で勝つための滑走法

スピードスケート部監督として多くのオリンピックを育てた前嶋名譽教授が指導方法を語った。

トレーニング動員が見られない
大学チームの陸上トレーニングの方法、量および栄養管理に多くの問題がある。



それぞれの年の卒業アルバムが並んだ



体育会の活躍を伝えるパネル展



桂小文治さん(左)と木村勝千代さん



第5回 黒門寄席

から実践した育成指導方法を語った。黒岩彰氏(昭59商)ら往年の名選手との世界に向けての試行錯誤の日々を、データや映像とともに回顧。



好評のSENDAI-Kaffee試飲会



在学生によるキャンパスツアー

「80歳まで監督を続けたが、後半は選手たちにはやりたいことを思い切りやってほしい」と伝えていた。意見が合わないこともあったが、多少失敗してもやってからでも遅くない、と指導していた」と語った。

第5回黒門寄席では浪曲師の木村勝千代さん(平2文)、落語家の桂小文治さん(昭55商)が登場し、会場を沸かせた。一連のイベントの司会を杉山真備さん(法2)が務めた。



司会の杉山さん



創立60年祝う
公認会計士・税理士として活躍する卒業生の会である専修大学会計人会(榎本恵一会長・昭61商)の第60回記念総会が10月27日、生田キャンパスで開催された。写真。会員ら約60人が出席し、創立60年の節目を祝った。

司会を校友のマサキさん(平16商)が所属するお笑いコンビ・さくらだモンスターが担当し、会を盛り上げた。



青空の下プレー楽しむ

第38回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会が10月20日、千葉県・平川カントリークラブで開催された。例年より多い62人が集い、抜けるような青空の下、開放感あふれるコースでプレーを楽しんだ。写真。表彰式後の懇親会では、参加者たちがお互いの健闘をたたえ合い親交を深めた。また、会場で集まった募金は専修大学に全額寄付された。

専修人の新しい本

心霊科学辞書 和英/英和

著者の蒲章則さん(昭51法)は卒業後、複数の大学で国際法、医学、国際保健学などを修め、医学博士の学位を取得。WHO(世界保健機関・SEARO) 官房長を経て、ハワイ大学医学部アドバタイザー、群馬大学多職種連携教育研究研修センター

本書は、生粋の読書人である新崎和治さん(昭44経済)が、かつて暮らした町や旅した土地の思い出とともに、本との出会いを記した読書録である。バルザックの『谷間』の美しい文章に

「読み手は書き手に寄り添い、作家の創造の『真実』までの道のりを探りたい。そのことを本来『読書』と言うのではないか」「読書は味わうように遅読がいい。老境にある今、『熟読玩味』が面白い」などの読書論に深くうなずく読者も多いことだろう。読書への尽きぬ愛にあふれた一冊だ。(日比谷出版社・税込1650円)

- ### 校友会情報
- △二鳳会総会
▽12月1日(金) 18時
▽浅草一文本店(台東区)
△阿賀北支部総会
▽12月2日(土) 18時
▽蔵春閣(新発田市)
▽埼玉西支部設立総会
▽12月9日(土) 14時
 - ▽ふじみ野市サービスセンター(ふじみ野市)
《証券懇話会(再興) 総会》
▽12月16日(土) 11時
▽生田キャンパス1号館
《報恩の間》
※支部総会に関するお問い合わせは「校友会事務局」
TEL:03-32695-7579

市井の読書論

新崎和治 著

「読み手は書き手に寄り添い、作家の創造の『真実』までの道のりを探りたい。そのことを本来『読書』と言うのではないか」「読書は味わうように遅読がいい。老境にある今、『熟読玩味』が面白い」などの読書論に深くうなずく読者も多いことだろう。読書への尽きぬ愛にあふれた一冊だ。(日比谷出版社・税込1650円)

脳のは快感や幸せを感じる機能があります。

脳の前頭前野という部分は人の感情や行動の制御を担っており、この部分が刺激を受けるとドーパミンという物質が分泌され、中枢神経が興奮して快感・多幸感が得られます。これを満足感と認識すると、この感覚を求めてその行為を繰り返すようになります。これが努力・工夫によって生産的に働く場合は良いのですが、ある特定の物質(アルコール、ニコチン、カフェイン、薬剤など)や行動(ギャンブル、ゲーム、インターネット、買い物など)はその経路が容易に刺激され、より強い刺激を求めて摂取量が増えたり、行動がエスカレートして

前頭葉の機能が低下し、快感を得にくくなって「やめたくてもやめられない」状況に陥ってしまいます。この結果、自分や家族、周囲の人の生活に支障をきたし、健全な社会生活を送れなくなる可能性があります。これは意志の弱さや性格の問題でもなく、脳の仕業なのです。

依存症は特定の行為を自分の意思でコントロールできない病気なので、支援を受けてその行為を止め続けることが大切です。一人で抱え込まず、勇気を持って専門の機関や行政機関に相談しましょう。

また、本人に自覚がないことも多く、周りに「依存症かも……」と思われる人がいたら適切なサポートへつなげることも大切です。

(校医・塩田香)